

Open Com

地域医療支援病院 大阪厚生年金病院 <http://www.okn.gr.jp/>

日本医療機能評価機構認定病院
大阪府「男女いさゝか・元氣宣言」登録事業者 「働きやすい病院」認定病院(第1号)
※にっけい子育て支援大賞受賞 ※女性のチャレンジ支援賞(内閣府)受賞

オープンコム

No. 24
2010.3

開放型病床をもつ開かれた病院として、地域の先生方や住民の皆様とコミュニケーションを図り、心かよう安心の医療を目指します。

当院の実力
内科(消化器グループ)編
内視鏡センターのご案内
初期臨床研修を終えるにあたって
日本医療機能評価更新が認定されました
かかりつけ医さんこんにちは
片岡歯科医院
こいけ歯科医院
さとう眼科
みなみ整形外科

● 消化器内視鏡の夢

● 胃の早期がんでは、手術成績が極めて良好なため、より体に優しい縮小手術が目指されてきました。最近、内視鏡「胃カメラ」の世界でも、この分野で革命的ともいえるブレイクスルーがありました。

● 従来、技術面の限界から、胃がん内視鏡治療の適応は、転移のない胃粘膜がんのうちの4分の1の症例にとどまっていた。近年、ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)という新しい方法が考案され、病変を一括して大きく切除することが可能となり、切除後の正確な病理診断、胃がん治療成績の向上だけでなく、今まで手術でしか切除できなかった、粘膜下に線維化のあるがんなども対象となることが期待されます。

● 内視鏡治療の適応が今までの約3倍に増加すると試算され、胃がん治療後でさえも、しっかり食事を楽しめる生活を送って頂ける方が増えていけばと願っております。

(臨床検査科部長：内視鏡センター担当 道田 知樹)



伊藤 敏文

部長（消化器担当）

- 専門** 消化器疾患（慢性炎症と癌の診断と治療）
- 経歴** 1984年 大阪大学医学部卒業
1990年 大阪大学大学院医学研究科修了
- 資格** 日本医師会認定産業医
日本職業・災害医学会認定労災補償指導医
日本内科学会認定内科医・指導医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本肝臓学会専門医・指導医

当院の消化器内科グループは、内視鏡センターや超音波室を活用し、最新の治療法の導入も図りつつ、学会等の治療指針・ガイドラインに基づき消化器疾患全般の診断・治療にあたっています。

また、消化器外科や放射線科とも緊密に連携をとっています。現在は14人体制（スタッフ6＋レジデント8）で、前年にもまして良質な医療の提供を心がける所存です。

2009年度上半期（4月～9月）の入院患者総数は860余名となり、月平均は140名を上回りました。

関連学会の施設認定状況は「日本消化器病学会 認定施設」、「日本肝臓学会 認定施設」、「日本消化器内視鏡学会 指導施設」であり、消化器内科領域の主たる認定・指導施設として活動しています。

日本消化器病学会が一般向けに発行している定期刊行情報誌「消化器病NOW」を外来・病棟で配布しています。

ご希望の方は、外来でお申し出ください。

●診療内容（診療対象疾患）

※ 詳細については当院のホームページ <http://www.okn.gr.jp/> もご覧ください。

- 消化器内科**
- **肝疾患**：急性肝炎、慢性肝炎（ウイルス性・自己免疫性・原発性胆汁性肝硬変）、肝硬変とその合併症、肝臓がんなど
 - **消化管疾患**：胃がん・大腸がんを含む消化管疾患の内視鏡診断・治療や化学療法、内視鏡的消化管出血止血術、食道静脈瘤治療など
 - **胆・膵系疾患**：胆石・胆のう炎・胆道がん、膵炎・膵臓がんなど

●消化器病懇話会のご紹介

（本誌P.19に開催案内を掲載）

消化器領域の患者さん向け勉強会です。15年以上の歴史を持ち大阪地域では先駆的に活動しています。医師、看護師、栄養士、薬剤師等が、患者さんに「消化器病について」わかりやすくお話しています。最近では音楽療法士の先生の参加もいただき、多数の出席者にも恵まれ、年に4～5回開催しています。



消化器病懇話会

●特 色

●難治性疾患への取り組み

- 1. 慢性肝炎（B型、C型、自己免疫性等）**
 - C型慢性肝炎に対してはインターフェロン治療を積極的に導入しています。
 - B型慢性肝炎の治療は、インターフェロン治療に加えて、抗ウイルス薬投与を積極的に勧めています。
 - 肝炎治療特別促進事業（平成20年度～平成26年度）に基づいたインターフェロン治療に対する医療費助成についても積極的に協力して、ウイルス性慢性肝炎の治療をすすめています。
 - 臨床治験にも参加しています。ご興味のある方はお問い合わせください。
- 2. 肝硬変**
 - 亜鉛を含めた栄養評価に基づき、分岐鎖アミノ酸補充療法や亜鉛補充療法等を積極的におこなっています。
 - 平成22年4月1日より「肝機能障害」が身体障害者福祉法の対象となり、現在、受け付けています。
- 3. 重症型肝炎、肝不全**

従来からの血漿交換や抗ウイルス治療のみならず、生体部分肝移植の保険適応により難治性肝障害の症例に関しては積極的に移植医療の選択肢もあることをご説明しています。
- 4. 慢性膵炎**

従来は、比較的少ない疾患として考えられていた疾患ですが、近年、食生活の変化や診断方法の進歩にともない増加の一途をたどっています。このため、当院でも早期診断のために積極的に慢性膵炎の治療に取り組んでいます。
- 5. 重症急性膵炎**

重症予後予測を厳密に考慮して、予後改善を目指して積極的治療をおこなっています。

● **内視鏡センター**（本誌次ページP.5に紹介記事あり）

- ・早期胃がん等、新しい治療法の内視鏡的粘膜切開剥離術では、当院は全国トップレベルの成績を持っています。
- ・上部内視鏡・下部内視鏡・胆胆道系内視鏡を用いた検査と処置を積極的におこなっています。
- ・よりよい画像での診療・診断・治療の必要があり、適宜機器整備・更新を進めています。

● **肝腫瘍の診断と治療**

- ・放射線科と連携し、腹部超音波検査のみならずCT、MRI検査を使用して、確実な診断を早期に得るよう努めています。
- ・適応を考慮し、腹部血管造影検査と肝動脈化学塞栓療法や肝動脈注化学療法を施行しています。
- ・超音波検査用の造影剤を使用し、造影超音波検査を肝腫瘍の診断や治療を積極的に施行しています。
- ・超音波下やCT下での治療法として、ラジオ波焼灼術は単針型と展開針型の二方式の機器を導入し、より的確に治療を施行できるように体制を整え、大阪府内でも有数の治療実績を有しています。

● **胆・膵系疾患の診断と治療**

胆・膵系の良性疾患、悪性疾患に対して、超音波や内視鏡を用いた治療を積極的に取り入れています。

● **医療のプロセスの明確化 クリニカルパス（以下「パス」）の積極的活用一**

- ・医療の質と安全を確保するため、治療の行程表ともいえる13種類の「パス」を導入しています。
- ・医療者向けだけでなく、患者さん向けにも詳細でわかりやすいパスをご用意し、お渡ししています。
- ・当科では、治療・検査を受けていただく患者さんが主役となる観点で作られた新しいパスを使用しています。

● **診療実績（2009年1月1日～12月31日）**

	件数
上部内視鏡検査	5,447
大腸内視鏡検査	1,701
胆・膵内視鏡検査	151
消化管出血止血術	264
内視鏡的大腸ポリープ切除術／粘膜切開術	333
胆・膵治療的内視鏡	40
内視鏡的粘膜切開剥離術	148
肝腫瘍ラジオ波焼灼術	86
肝生検	35
肝腫瘍狙撃生検	10
経皮的胆嚢・胆管ドレナージ術	33



**患者さん、一般の方への
メッセージ・お願い**

- 当院には豊富な消化器領域専門医（内科、外科）が揃っていますので、診断から治療まで安心してお任せください。私たちは患者さんに「この病院で治療をしてよかった」と思っていただけののを何よりの励みとしています。
- 患者さんに病状や検査、治療内容を十分に説明し、同意のもとに診療をおこなわせていただきます。
- セカンドオピニオンご希望の場合も誠実に対応いたします。



**かかりつけ医の先生への
メッセージ・お願い**

- 平素より、多大なご協力をいただきありがとうございます。
- 医療の質と安全を心がけ、良質な医療に邁進していく所存ですので、従来同様消化器内科への患者さんご紹介をよろしくお願いいたします。
- 主治療が終了あるいは方針が決まり次第、随先生方に逆紹介させていただき、緊密な病診連携をとらせていただきます。
- 今後、病診連携を視野に入れたクリニカルパスを作成したいと考えていますので、先生方の益々のご協力をお願いいたします。



**消化器内科専門医を
目指す臨床研修医の皆さんへ**

- チームは活気にあふれ、全員一丸となってよりよい医療の実施を目指しています。
- 親切丁寧で経験豊富な指導医にも恵まれています。
- 後期研修終了後には、ぜひ専門医取得をめざして臨床に励んでいただきたいと思います。

● スタッフ紹介



道田 知樹 臨床検査科部長（内視鏡センター担当）

専門 消化管、胆膵疾患
経歴 1986年 大阪大学医学部卒業
資格 日本内科学会認定医、指導医
日本消化器病学会専門医、指導医
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
日本肝臓学会専門医



内藤 雅文 部長（臨床検査科担当）

専門 肝細胞がん、慢性肝炎
経歴 1987年 大阪大学医学部卒業
資格 日本内科学会専門医、指導医
日本消化器病学会専門医、指導医
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
日本肝臓学会専門医、指導医



千葉 三保 医長

専門 消化器内科
経歴 2002年 福島県立医科大学卒業
資格 日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本肝臓学会専門医



前田 晃作 医師

専門 消化器内視鏡
経歴 1999年 大分大学医学部卒業



城所 亜紀子 医師

専門 消化器内科
経歴 2004年 大阪大学医学部卒業
資格 日本内科学会認定医



賀野 知代 医師

専門 消化器内科
経歴 2005年 兵庫医科大学卒業
資格 日本内科学会認定医



西塔 民子 医師

専門 消化器内科
経歴 2005年 浜松医科大学卒業
資格 日本内科学会認定医



西尾 啓 医師

専門 消化器内科
経歴 2006年 大阪大学医学部卒業
資格 日本内科学会認定医



岩橋 潔 医師

専門 消化器内科
経歴 2006年 大阪大学医学部卒業
資格 日本内科学会認定医



大西 良輝 医師

専門 消化器内科
経歴 2006年 大阪医科大学卒業



北 久晃 医師

専門 消化器内科
経歴 2006年 大阪市立大学医学部卒業



武田 梨里 医師

専門 消化器内科
経歴 2007年 兵庫医科大学卒業



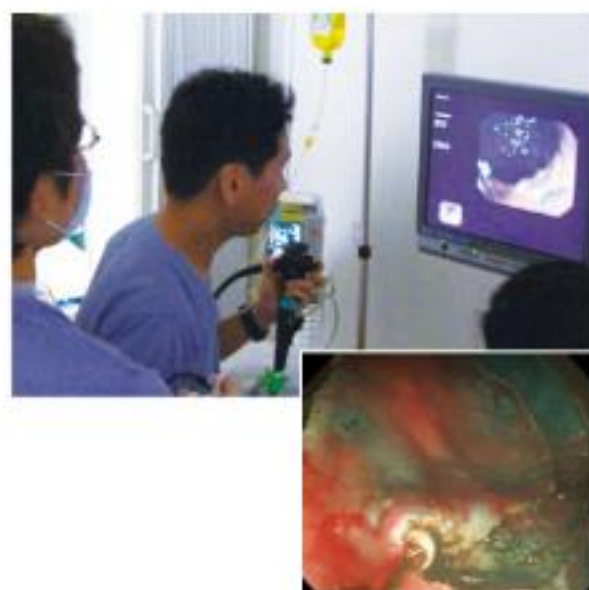
森田 理恵 医師

専門 消化器内科
経歴 2007年 兵庫医科大学卒業

内視鏡センターのご案内

内視鏡技術・医療機器の進歩の中で、最新の内視鏡診断・治療に取り組んでおります。通常内視鏡検査はもとより、色素内視鏡・超音波内視鏡・拡大内視鏡・特殊光（NBI）内視鏡などの特殊内視鏡検査による精度の高い内視鏡診断をおこなっています。また、早期胃癌に対する内視鏡手術（ESD）に関しては、日本消化器内視鏡学会から ESD 委員（近畿で 2 名のみ）として指導施設に任命され、胃がん治療ガイドラインに基づき、外科とのカンファレンス（症例検討会）の中で、その適応が決められております。従来は手術されていた症例の中でも、適応を拡げて臨床研究（院内倫理委員会承認済み）として ESD が行なわれ、2009 年は年間約 180 例の治療実績で、治療数は関西トップ 3 に入ります。

（内視鏡センター部長 道田 知樹）



受診のご案内

対 象	・検診（人間ドック）、大腸癌検診（便潜血）で要精査の方 ・腹痛など諸症状の精査 ・食道・胃・大腸の各種疾患の診断・経過観察 ・内視鏡手術（早期がんに対する EMR/ESD など）の必要な方				
診 療 内 容	<table border="1"> <tr> <td>検 査</td><td> ・通常上・下部内視鏡検査 ・特殊内視鏡検査（色素内視鏡・超音波内視鏡・拡大内視鏡・特殊光（NBI）内視鏡） ・ERCP </td></tr> <tr> <td>治 療</td><td> ・ポリペクトミー ・EMR（内視鏡的粘膜切除術）／ ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術） ・EST（内視鏡的乳頭切開術） ・消化管狭窄拡張術 </td></tr> </table>	検 査	・通常上・下部内視鏡検査 ・特殊内視鏡検査（色素内視鏡・超音波内視鏡・拡大内視鏡・特殊光（NBI）内視鏡） ・ERCP	治 療	・ポリペクトミー ・EMR（内視鏡的粘膜切除術）／ ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術） ・EST（内視鏡的乳頭切開術） ・消化管狭窄拡張術
検 査	・通常上・下部内視鏡検査 ・特殊内視鏡検査（色素内視鏡・超音波内視鏡・拡大内視鏡・特殊光（NBI）内視鏡） ・ERCP				
治 療	・ポリペクトミー ・EMR（内視鏡的粘膜切除術）／ ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術） ・EST（内視鏡的乳頭切開術） ・消化管狭窄拡張術				
申し込み方法	予約制 （患者さん）かかりつけの先生から紹介いただくか、内科外来受診の上、お申し込みください。 （かかりつけ医の先生方）地域医療連絡室にご連絡の上、ご予約ください。				
予 約 窓 口	地域医療連絡室 TEL (06) 6441 - 5463（かかりつけ医専用） * 患者さんより予約はできません。				
診療内容についての問い合わせ窓口	内視鏡センター TEL (06) 6441 - 5451（内線 2192） 時間／平日 9:00 ~ 17:00				



患者さん、一般の方への
メッセージ・お願い

現在・過去に置かれた病名や、服用中のお薬の名前をお尋ねすることがあります。内視鏡手術などの説明や同意をいただく際には、ご家族の同伴をお願いする場合があります。



かかりつけ医の先生への
メッセージ・お願い

抗凝固剤の服用や、感染症有無に関する情報があれば、お教えていただくと幸いです。



消化器内視鏡専門医を目指す
臨床研修医の皆さんへ

学会専門医の資格取得には、5 年以上の学会在籍・研修指定病院での勤務と、内科認定医の取得など、時間を要する規定もありますので、わからない点があれば、早目にご相談ください。

初期臨床研修を終えるにあたって

初期臨床研修 修了者をご紹介します（氏名の五十音順）



大槻 大 医師（奈良県立医科大学出身）

初期臨床研修では熱心で親切な先生方や優秀な同僚に恵まれ、充実した2年間を過ごすことができ感謝しております。来年度からも大阪厚生年金病院で働くこととなりました。自己研鑽を積んでいこうと思っておりますので、今後ともよろしくお願いします。



岡 樹史 医師（大阪大学出身）

学生時分、初期研修の希望先を大いに悩みましたが最終的に当院を選んだことに大変満足しています。何よりも優秀で意欲的な同期に恵まれた事が本当に幸運でした。また多くの若い先生方が患者さんへの熱意と向学心に溢れており、病院全体に活気があって居心地が良かったです。2年間どうもありがとうございました。



小幡 佳也 医師（大阪大学出身）

初期研修の中で、医学の知識や技術だけでなく、社会人として必要な礼儀やマナー、責任感などを学ばせていただきました。その最も優れた指導者は患者さん一人ひとりだったと思います。この経験を活かし、今後の医療に貢献していきたいと思います。2年間ありがとうございました。



甲斐 優吾 医師（大阪大学出身）

初期研修2年間は本当に楽しい2年間でした。いい刺激をもらえ何でも言い合える同期に恵まれ、またあたたかい先輩後輩医師に出会えたことは一生の財産です。まだまだ未熟ではありますが、年金病院にいただいたご恩を少しでも返せるよう、これからさらに研鑽を積んでいきたいと思っています。



笠島 裕明 医師（大阪市立大学出身）

偏りの少ない幅広い知識と経験を得たいと考え、大阪厚生年金病院での研修を希望しました。その希望通りに、様々な先生方から知識や手技を教えていただきました。また、専門科を決めていなかった僕としては、さまざまな科の色々な面をみることで進路を決定する上でとても参考になりました。この病院で何より良かった点は、素晴らしい同期に出会えたことです。この経験を忘れることなく、日々精進していきたいと思っています。



川崎 綾子 医師（兵庫医科大学出身）

最初はさまざまな不安を抱えて始まった初期研修でしたが、温かく時に厳しく指導して下さった各科の先生方、2年間の苦楽を共にした優秀な同期に恵まれ、本当に有意義な研修生活を送ることができました。今後は自分が与えられるだけでなく、周りを幸せにすることができる医療を実践できるよう努力していきたいと思っています。



田中 彰博 医師（北海道大学出身）

熱心な指導をしていただいた各科の先生方、スタッフの皆様、そして何よりも患者さんの皆様方2年間誠にありがとうございました。皆様の厳しい言葉や優しい言葉、またその表情などすべてが僕の原動力となり、2年間精進努力を続けることができました。今後も初心を忘れず、皆様の役に立つように努力を続けたいと思います。ありがとうございました。



中村 有佑 医師（兵庫医科大学出身）

大阪市立大学とのたすき掛けで2年目より当院で研修させていただきました。大学と市中病院の両方で研修出来たお陰でそれぞれの長所、短所を肌で感じ、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。来年度から大阪市大の第2外科に入局することにいたしました。この2年間の糧にこれからも頑張っていきたいと思っています。



林 依里 医師（川崎医科大学出身）

私は大阪市立大学とのたすき掛けで2年目から大阪厚生年金病院で研修しました。大学病院では殆ど経験しない救急当直を経験することができたことが非常に良かったと思います。熱心な指導医に加え、周りのコメディカルの方々に助けて頂いたことは言うまでもありません。また、優秀な同期に恵まれたことも私にとっては大きな刺激となり、本当に恵まれた環境で研修できたことは一生の財産です。この研修期間はまさに“serendipity”です。今まで御世話になった方々、本当に心から感謝いたします。



松長 由里子 医師（奈良県立医科大学出身）

実際に働かだして感じたことは病気を勉強することだけでなく患者さんとのコミュニケーションも大切であるということでした。本で読むだけでは学べない多くのことを、この病院で得られたのではないかと感じています。



村上 知義 医師（関西医科大学出身）

市中病院ならではの豊富な症例を診ることができ、また素晴らしい同期に恵まれて、有意義で充実した2年間でした。特に救急当直では、各科にわたるさまざまな疾患を経験させていただきありがとうございました。また、立地もよく、容易に気分転換できる環境もよかったと思います。今後もこの2年間の経験を活かして、頑張っていきたいと思っています。



森島 久仁子 医師（川崎医科大学出身）

熱心な指導医の先生方、優秀で勉強熱心な同期、またたくさんのコメディカルの方々にも支えていただき、有意義な研修生活を送ることができました。緊張しながらの救急当直で、プライマリーの現場で身をもって多くのことを学び吸収できたと思います。今後もいままで学んできたことを礎に医師として一步一步進んで行きたいと思っています。ありがとうございました。



米本 仁史 医師（大阪大学出身）

私は2年間で大阪厚生年金病院の他に大学病院、高度救命救急センター、地域の開業医さんで研修する機会に恵まれ、それぞれの役割と協力の重要性について学びました。また、院内では医師としての役割と他職種との協力の重要性について学びました。今後どのような職場で働くことになっても、自分の役割をしっかりと自覚したいと思っています。



依藤 直紀 医師（大阪医科大学出身）

大阪厚生年金病院はどの科の先生も熱心に指導してくださるいい病院です。また、救急外来では、さまざまな疾患を診ることができ、プライマリーケアを学ぶことができました。当院で得た経験を今後にかけていきたいと思っています。

日本医療機能評価更新が認定されました

昨年5月に受審した第5版病院機能評価更新審査は、院長をはじめ全職員の努力の結果、私の想定を大幅に凌駕した評価をもって2009年9月4日付で更新が認定されました。

結果の詳細は、日本医療機能評価機構ホームページ (<http://www.jcqhc.or.jp>) の認定病院情報提供で公表されていますので、総括ならびに各部門の評点などご一読ください。

現在、認定病院の多くが抱える最重要課題は、審査時積極的に取り組んだ種々の改善項目を、その後5年間にわたり継続かつ次代へ周知伝達出来るか否かであります。

既に実施されています第6版評価には①継続的なチーム医療の推進 ②地球環境への配慮 ③情報システムや医療機器の管理機能 ④臨床研修機能などの新項目が追加されています。

また、平成23年4月に設立予定の新機構においても、「第三者による評価と見直し」は継続されますので「健全なる経営」参画と共に全職員が引き続き留意される事を切望します。

(副院長 山崎 芳郎)

病院の理念・基本方針・患者さんの権利と責務

(1) 病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します。
2. 患者さんの立場に立って、心温まるケアに専念します。
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
4. 職員全員が働きやすい職場づくりをすすめます。

(2) 地域医療支援病院としての基本方針

1. 小児救急を含む24時間救急医療をおこなっています。
2. 母子医療センターとして妊娠・分娩と新生児・未熟児の医療に24時間体制で迅速かつ確実に対応します。
3. 各部位の癌に対して、内科的・外科的に積極的な集学的治療をおこなっています。
4. 内視鏡、内視鏡下手術などを用いた低侵襲かつ高度な治療とともに外来化学療法や緩和医療チームにも力を入れています。
5. 慢性疾患に対しても集学的な治療体制を整え、患者教育にも熱心です。
6. 褥瘡・四肢・視覚・聴覚・皮膚等の疾患に対して、専門性の高い手術的治療を麻酔科、ICU、放射線科等とチームを組んでおこなっています。
7. 麻痺・痛み等に対して、各診療科が協力して治療にあたります。
8. 生活習慣病の予防や癌の早期発見についても各診療科が協力して診療にあたります。
9. 各診療科での診療は地域や関連する診療所や病院との連携を大切におこなっています。

10. 地域の医療従事者と合同で医療の質の向上を目的とした研修会等をおこなっています。

11. 職員の子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

(3) 患者さんの権利と責務

1. 患者さんは、誰でも当院でおこないうる最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 病名と治療方法など十分な説明を聞いた上で、患者さんは、自分の意思で治療を受け入れるかどうかを決めることができます。
3. 治療の途中でも、患者さんは、他の医師に意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
4. 患者さんの病名その他の個人情報保護されます。又、病名や検査結果など必要とする情報は患者さんによる適切な手続き後にいつでも求めることができます。
5. 全ての患者さんが適切な医療を受けていただく為に、当院の規定・規則を守り他の患者さんの診療に支障となる迷惑行為を慎み、医療者と協力して療養する責務があります。

看護部の理念

患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、
生活の質を高める看護を実践するとともに、
人を癒し、人を活かす職場づくりに努めます

地域医療連絡会が開催されました

平成 22 年 1 月 30 日（土）、リーガロイヤルホテル（山楽の間）において、平成 21 年度の地域医療連絡会が開催されました。

連絡会の開催前には「平成 21 年度 第 4 回地域医療支援病院運営委員会、第 1 回開放型病床運営委員会、第 1 回地域医療研修委員会」が別室にて開催され、外部委員の先生方より貴重なご意見を伺いました。

連絡会は、清野佳紀病院長挨拶の後、学術講演会として此花区医師会副会長の木下隆弘先生の座長で「胃癌治療の最前線」の表題のもと、道田知樹（内視鏡センター長）より「内視鏡治療の最前線：ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）の現状」、弓場健義（消化器外科担当部長）より「外科治療の最前線：腹腔鏡下手術の現状」の講演があり、講演後の質疑応答では地域の先生方より活発な御質問があり実りある講演会となりました。今年度の講演会参加者の約 25% は他病院からの参加者であり、講演内容による参加であったと思われます。その後、診療科部長紹介、懇親会へと進みました。懇親会会場では当院の医師と地域の先生方との和やかな意見交換が行われました。

当院の地域医療連携に関して、多くの地域の先生方

のご支援をいただいていることが実感されました。ありがとうございました。

（地域医療連絡室 小川 公明）



緩和ケア講演会開催報告

2009 年 12 月 4 日（金）、当院看護学校体育館において緩和ケア公開講演会を開催し、多くの方にお集まりいただきました。

まず小出副院長より開会挨拶の後、今回の講演会を共催いただいた JPAP® 事務局より活動についての簡単なお紹介がありました。

引き続いて、聖路加国際病院緩和ケア科医長で、緩和医療の分野の第一人者でもいらっしゃる林 章敏先生より「がん性疼痛を中心とした pain management、および bad news の伝え方」という 2 つのテーマでご講演いただきました。講演終了後は大変活発な質疑応答が行われ、盛会のうちに終えることができました。

講師の林先生にはお忙しい中、遠路足をお運びいただき大変ありがとうございました。また共催いただきました JPAP® 事務局の皆様にも、当院緩和ケアチームを代表し、お礼申し上げます。

（麻酔科医長、緩和ケアチームリーダー 小山 伸一）



【講師プロフィール】

聖路加国際病院緩和ケア科医長 林 章敏（はやし・あきとし）
1988 年宮崎医科大学医学部（現・宮崎大学医学部）卒業。
淀川キリスト教病院内科、ホスピス勤務。
1995 年より日本バプテスト病院ホスピス医長、診療部長を経て 2004 年より現職。
2007 年より厚生労働省「終末期医療に関する調査検討会」委員。
日本緩和医療学会代議員、日本死の臨床研究会世話人、広島大学大学院と東京医科歯科大学医学部非常勤講師を兼務。

【JPAP® について】 <https://www.jpap.jp/>
Japan Partners Against Pain は、痛みからの解放をめざして設立された、非営利団体です。



患者相談室 Open Win/d より オープン・ウィンド

2009年7月から10月まで投書箱、「みなさまの声」に寄せられた件数は74件で、患者相談室に寄せられた相談等は全部で98件です。
その中の苦情及びご意見の一部を紹介します。

Q 待ち時間が長い。待たせてあたりまえの状況を、なんとか待っている人の身になって考えてほしい。1時間を超える場合はその旨連絡してはどうか？ また、トイレや食事等で席をはずす場合があるので、館内放送で呼び出してほしい。

A 予約をされていますのにお待たせする時間が長くて申し訳ありません。待ち時間の目安として、現在待ち時間の表示方法について外来で統一いたしました(右記)。待ち時間が長くなる場合は表示のみでなく、看護師が口頭で説明させていただいております。席をはずされる場合の連絡の方法も検討してまいります。



Q 大部屋で色々な科の患者がいる中、どの医師も検査結果や治療方針などの説明をベッドサイドでされており、周囲へ知れ渡る事への配慮に欠けるのではないかと思います。面談室・詰所など上手に使えないのかなと……ご面倒かもしれませんが、プライバシー保護を重視する風潮にあることだし、一度見直していただきたいと思います。

A 6床室での患者様への検査結果や治療方針等の説明については、病院そのものの老朽化に伴うスペース確保の困難性等から、やむを得ずベッドサイドでおこなっている現状です。ご指摘の通り、プライバシー保護の観点から、面談室やナースステーション等を活用し、出来る限り改善措置を検討したいと思っております。また、病院内の全医師による検討会においても、重要な問題として取り上げ指導してまいります。貴重なご意見ありがとうございました。

Q 病院の駐車場には車椅子用が何台分かありますが、1階駐車場が一杯で2階にとめるしかなく車椅子を押して坂を下りました。玄関先で降りるときにも車が一杯でとめることができませんでした。明らかに車椅子でない人の駐車もよく見かけ、これまで何度も苦勞しています。病院なのですからもう少し配慮していただきたいと思います。

A ご不便をおかけしまして申し訳ございませんでした。身障者の方がご来院の場合は、駐車場係員にお申し付けください。1階の駐車スペースを確保いたします。

Q 自転車が置けない。ほこりがたまり、何ヶ月も使用してないような自転車も見られます。気持ち良く来院できるように整理をしてください。

A ご迷惑をおかけしております。2009年9月11日に一斉に自転車に張り紙をして、3週間後に不法放置自転車を撤去しました。年2回は実施していますので、ご理解ください。

Q 1階の正面玄関から、入院センターまでの長い廊下に手摺りをつけてほしい。足が悪いので、転倒しそうでこわいです。

A 外来は患者さんをはじめとする人の往来や物品の搬送が多いこと、また診察室の出入り口が多いことから、手摺を設置することにより、利用される方の(人や物がぶつかる)危険性を高めてしまうと考えています。足がご不自由とのことですので、お手数でもボランティアや職員にお声がけください。車椅子等での移動のお手伝いをさせていただきます。

患者さんへのお願い 当院での 整形外科初診・再診 の取り扱いについて



(地域医療連絡室)

TEL (06) 6441-5451 (代)
AM 9:00 ~ PM 5:00
(土日祝日を除く)

当院では、**整形外科(リウマチ科・スポーツ医学科を含む)の初診は他医療機関からの紹介患者さん限定**とさせていただいております。一度通院していた患者さんも治療が終了して次回の予約がない患者さんは初診となり、他医療機関からの紹介が必要です。

受診ご希望の際は、先ずかかりつけ医の先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちであれば患者さんからの予約もお取りできますので下記までご連絡ください。

なお、予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。**再診も、初診と同様にすべて予約制**です。

診察室が予約の患者さんで常時ふさがっているため、紹介状なしや予約なしに受診された場合、診察室や診察医師の手配ができませんのでご了承ください。



《重要なお知らせ》**病院敷地内 全面禁煙**

当院は病院敷地内全面禁煙です。

患者情報室 Lavender News 「ラヴェンダー」ニュース



患者情報室ラヴェンダーでは、
こんな資料も収集しています。

企業パンフレット

①「企業パンフレット」って何？

- 薬や病気についての情報案内冊子です。
- 患者さん向けの内容で、コンパクトで、わかりやすく、カラーイラストや図を用いて解説されています。
- 製薬会社や医療関係機関が発行しています。
- 配布用が複数ある冊子は患者さんがご自由にお持ち帰りいただけます。
- 「医療書」の内容が難しくてわかりにくい人や、家に持ち帰りじっくり読みたい人にはお勧めの冊子です。

②どのように利用できるの？（利用の仕方）

- 企業パンフレットコーナー（写真）レターケース上に置いてある見本のファイルをまずはご覧ください。
- ご希望の冊子が見つかりましたら、ファイルと同じ分類のレターケースから配布用の冊子をお持ち帰りください。
- 探し方がわからない、見つからないなどお困りのことがありましたら、遠慮なくスタッフまでご相談ください。一緒に探すお手伝いをいたします（後日取り寄せが可能な冊子もありますが、発行年が古い分は在庫切れなどで入手できない場合があります）。

③企業パンフレットの分類について

当室では、企業パンフレット及び医療書の分類に『メルクマニアル医学百科』を用いています。

『メルクマニアル』とは、医薬品の研究開発で高い評価を得ているアメリカの会社が無償提供している、世界で最も信頼されている医学書のひとつです。

日本語オンライン版が、万有製薬のホームページにあります。（<http://www.banyu.co.jp/content/corporate/merckmanual/>）

薬についての基礎知識、心の健康問題、消化器の病気、癌など、疾病別・部位別に分類されています。

なお、冊子によっては「メルクマニアル」に準じず、当室独自の分類を付与している場合もあります。

患者情報室とは

患者さんが医療の情報を得たり、自己学習の場として、また、病院内でゆったりとした気分になっていただける空間として無料でご利用いただける施設です。

OPEN 月～土 火・土は病棟巡回のため休室の場合あり

※ 開室時間は院内の掲示か、お電話でご確認ください。
（通常 11:00～16:00）

場 所 別館1階
（スポーツ医学センター横）



お願い

ラヴェンダーで提供している情報は、一般的なものです。
患者さんご自身の状態に必ずしも一致した情報や答えではないことをご理解ください。
さらに詳細については、担当の医師にご相談されることをお勧めします。

かかりつけ医さん こんにちは

片岡歯科医院

院長 片岡 宏之

〒553-0005 大阪市福島区野田1-1-86
(大阪市中央卸売市場業務管理ビル 4F)

TEL 06-6469-7777(代)

FAX 06-6469-7778

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:00~13:00	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	○	○	—



診療科目

歯科/小児歯科/口腔外科

往診

有(訪問歯科診療実施)

休診日

土曜午後・日曜・祝日

駐車場

有(10台)

- 地下鉄千日前線「玉川」駅下車、徒歩10分
- JR環状線「野田」駅下車、徒歩8分



片岡先生とスタッフの皆さん

福島区歯科医師会に1985年に入会、開業させていただき、早26年が過ぎました。

それ以来、本当にたくさんの方々にお世話になってまいりました。平成21年4月からは福島区歯科医師会の会長に就任し、地域医療に貢献すべく微力ながら協力させて頂いております。昨年からは歯科訪問診療も始めました。大阪厚生年金病院 藤本歯科部長には支部会務にご協力頂き感謝しております。今後は、厚生年金病院歯科と歯科医師会の連携で、地域における医療の確保に努力する所存です。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

こいけ歯科医院

院長 小池 宏忠

〒554-0002 大阪市此花区伝法3-7-34

TEL 06-6461-8011

FAX 06-6461-8016

ホームページ <http://www.koike-shika.net/>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
15:00~20:00	○	○	○	○	○	○
21:00~24:00*	○	—	—	—	—	—

*土曜は9:00~14:00

*夜間診療は月のみ



診療科目

一般歯科/歯周病治療/小児歯科/矯正歯科/審美歯科/インプラント/口腔外科

往診

有(訪問歯科診療実施)

休診日

木曜・日曜・祝日・

土曜14時以降

駐車場 有(7台)

- 阪神なんば線「伝法駅」下車、徒歩5分



小池先生



此花区にて開業し、早14年が経過しましたが微力ながら地域の貢献をしたいと思い、当院では患者様方に納得して頂ける治療を心掛けています。

インプラント、在宅診療なども行っております。持病をお持ちの方等、色々と配慮すべきケースも多く厚生年金病院歯科口腔外科には大変お世話になり感謝しております。

今後も、よりいっそう良質な歯科治療を提供できるように大阪厚生年金病院と連携をとりながら頑張っていきたいと思っております。

病診連携で日頃お世話になっている
かかりつけ医さんをご紹介します。

さとう眼科

院長 佐藤 勝

〒553-0003 大阪市福島区福島2-8-22 福田ビル 2F

TEL 06-6453-2226

FAX 06-6453-2225

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:00	○	○	○	○	○	○
16:30~19:00	○	○	○	—	○	—



- 阪神「福島」駅下車、徒歩2分
- JR東西線「新福島」駅下車、徒歩2分

診療科目

眼科

住 診

無

休診日

木曜午後・土曜午後・
日曜・祝日

駐車場 無



佐藤先生とスタッフの皆さん



1991年5月に縁あって現在地で開業して20年近くになります。福島区は学生・研修医時代を過ごした地でなじみ深い場所です。

眼科かかりつけ医として、患者さんの希望に沿いつつ、患者さんにとって最善の治療は何かを考えながら日々診療にあたっています。

開院当初より大阪厚生年金病院の皆様には大変お世話になり心強い限りです。

今後も何かとご迷惑をおかけすることと思いますがよろしくお願いいたします。

みなみ整形外科

院長 南 幸作

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲3-7-27

TEL 06-6452-1588

FAX 06-6452-1587

ホームページ <http://www.myclinic.ne.jp/minamiseikel/pc/>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
15:30~18:00	○	○	○	—	○	—



- 阪神「野田」駅・地下鉄千日前線「野田阪神」・JR東西線「海老江」下車、徒歩8分
- JR環状線「福島」駅下車、徒歩12分

診療科目

整形外科/リハビリテー
ション科/リウマチ科

住 診

無

休診日

木曜日午後・土曜午後・
日曜・祝日

駐車場 無



南先生とスタッフの皆さん



みなみ整形外科は、2005年11月から福島区鷺洲で、整形外科を開業しています。一般整形外科から、リウマチ、リハビリテーションなどの診察をしております。開業して5年目を迎え、やっとこの地域にも慣れてきたところです。

今後も大阪厚生年金病院と連携をとりながら、お役に立てるようにがんばりたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

各種教室

両親学級

●大阪厚生年金病院（産婦人科外来）
☎06-6441-5451（内線2279）

- 開催日／毎月第1、2、3水曜日
- 時間／13:30～15:30
- 場所／当院2階 第1会議室
- 費用／1,000円（3回分）



腎臓病教室

●大阪厚生年金病院（血液浄化センター）
☎06-6441-5451（内線2667）

- 時間／13:30～14:30
 - 場所／当院2階 第1会議室
 - 費用／無料
 - 方法／事前申し込み不要、直接お越しください。
- ※4月と9月は休会：開催なしです。



開催日	テーマ	対象	担当
5月27日（木）	慢性腎不全の食事療法（たんぱく制限の工夫）	主に慢性腎不全患者さん（保存期）	栄養部
6月24日（木）	腎機能が低下しているといわれたら…… 慢性腎不全との付き合い方	慢性腎不全の患者さん（Cr2mg/dl以上）	医師
7月22日（木）	腎臓病と福祉制度（社会保障制度）	保存期、透析導入患者さん	M S W
8月26日（木）	慢性腎不全の食事療法（エネルギーのとり方の工夫）	主に慢性腎不全患者さん（保存期）	栄養部

レッツ！糖尿病教室

●大阪厚生年金病院（内科外来）
☎06-6441-5451（内線2274）

- 時間／14:00～16:00（受付は13:45から）
- 場所／当院2階 第1会議室
- 費用／無料
- 方法／事前申し込み不要、直接お越しください。



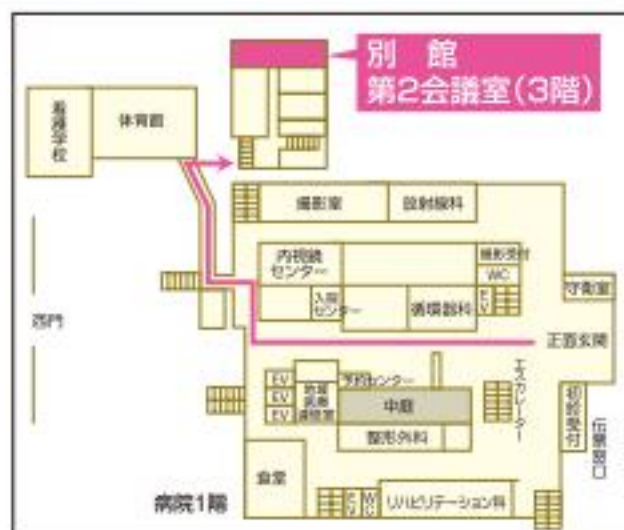
開催日	テーマ	担当
4月5日（月）	インスリンって何？ 自己管理（血糖、血圧、体重、尿糖測定） インスリン製剤	医師 看護師 薬剤師
5月6日（木）	食習慣を考えよう！ 食事療法の基礎 咀嚼の効果	医師 管理栄養士 歯科衛生士
6月3日（木）	なぜ、運動が必要なのか？ 運動の実践	医師 運動指導員

（注意）4月のみ第1月曜日に開催します。

禁煙教室

●大阪厚生年金病院（内科外来）
☎06-6441-5451（内線2274）

- 開催日／毎月第1、3水曜日
 - 時間／13:00～14:00
 - 場所／当院別館 第2会議室（3階）
※別館第2会議室（3階）は、右記アクセス図をご参照ください。
 - 費用／無料
 - 方法／事前申し込み不要、直接お越しください。
- （お知らせ）4月7日（水）は休会：開催なしです。



公開講座

どなたでも参加できます

消化器病懇話会

問 大阪厚生年金病院（内科外来）
 06-6441-5451（内線 2274）

- ・日 程／各開催日、テーマなどについては確定次第、院内に掲示いたします。
- ・場 所／当院 2 階 第 1 会議室
- ・時 間／14:00～16:00
- ・費 用／無 料
- ・方 法／事前申し込み不要、直接お越しください。

第14回大阪厚生年金病院 股関節教室

問 大阪厚生年金病院予約センター
 06-6441-5451（内線 2153）

- ・日 程／5月23日（日）
- ・時 間／13:30～16:00（受付開始は13:00から）
- ・場 所／グランキューブ大阪 10F（1009 会議室）
 ※ グランキューブ大阪は、右記アクセス図をご参照ください。
- ・テーマ／医師・看護師・理学療法士が股関節の疑問にお答えします。
- ・講演者／中田浩也（当院整形外科人工関節担当部長）、
 看護師・理学療法士
- ・費 用／無 料
- ・方 法／当院 1 階予約センター窓口で事前にお申し込みください。
- ※ 申し込み受付は2月8日（月）からです。
 受付時間：平日 8:30～17:15



院内の公開講座

対象：医療従事者

院内の公開症例検討会

問 大阪厚生年金病院（地域医療連絡室）
 06-6441-5463

名 称	日 時	場 所
乳腺疾患カンファレンス	第 1・3 水曜日 17:30～19:00	2 階 第 2 会議室
手の外科診療症例検討会	第 1 金曜日 19:00～21:00	2 階 第 1 会議室
脳卒中カンファレンス	毎週火曜日 17:00～18:30	4 階 カンファレンス室
婦人科腫瘍合同症例検討会	第 4 木曜日 17:00～18:00	2 階 第 2 会議室
臨床病理検討会 (CPC)	毎月最終水曜日 17:30～18:30	看護学校視聴覚室*

※ 看護学校は、下記アクセス図をご参照ください。

院内でおこなわれる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。
 恐縮ですが、開催日の1週間以内に地域医療連絡室（TEL 06-6441-5463）にご確認ください。

公開講演会

問 大阪厚生年金病院（看護部：高橋）
 06-6441-5451（代表）

- ・日 程／6月9日（水）
- ・時 間／17:30～
- ・場 所／看護学校体育館
 ※ 看護学校は、右記アクセス図をご参照ください。
- ・テーマ／アメリカのファミリーナースプラクティショナーとは～教育・活動・看護師のキャリア～
- ・講 師／山之内 薫（ファミリーナースプラクティショナー）
- ・費 用／無 料
- ・方 法／事前申し込み不要、直接お越しください。



問 は問い合わせ 申 は申し込みを表しています

外来診療 受付時間

8:30～11:30 (土・日・祝日を除く)

初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をしておいてください。整形外科は紹介状なしでは受診できません。

一般病棟 面会時間

12:00～21:00 平日(月～金)

10:00～21:00 土・日・祝日



かかりつけ医の先生専用 診療・検査予約先

患者さんからの FAX お申し込みはできません。患者さんはかかりつけ医の先生を通してご予約ください。

地域医療連絡室 (診療予約) (受付時間 8:30～19:30)

FAX (06) 6441-0512 TEL (06) 6441-5463 (直通)

予約センター (検査予約) (受付時間 8:30～17:00)

FAX (06) 6459-4599 TEL (06) 6441-5451 (内線2153)

診療科等一覧

- 救急科/プライマリケア 救急研修センター
- 内 科
- 神経精神科
- 神経内科
- 循環器内科
- 小児科
- 外 科
- 乳腺・内分泌外科
- 整形外科
- リウマチ科
- スポーツ医学センター
- 形成外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科口腔外科
- 病理科
- 内視鏡センター
- 女性医科外来
- 女性がん検診
- 禁煙外来
- 集中治療部

※各科の専門など詳細は<http://www.okn.gr.jp/>でご覧になれます。

※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします。

リウマチ科

整形外科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2109)

最新の薬物療法から手術・関節手術まで患者さんの状態に応じて幅広く対応しています。
(診療日) 要紹介・予約制: 初診 (月曜日)、再診 (月・火・木・金曜日)

集中治療部 (ICU)

大手術後、院内重症患者さんを集中的に治療する部門です。

救急科と連携して脳・心疾患・外傷の重症患者さん等を受け入れ、治療しています。

救急科

TEL (06) 6441-5451 (代)

脳・心血管手術を含め、広く救急患者さんを受け付け、24時間手術可能です。
小児の急患も受け付けます。

内視鏡センター

TEL (06) 6441-5451 (内線2191)

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療 (内視鏡的手術) を目的としています。

※ かかりつけ医の先生から FAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

※ FAX (06) 6441-0512 (かかりつけ医の先生専用)

地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域医療連絡室 TEL (06) 6441-5451 (内線2158、2159)

患者さんの治療・療養が円滑に進行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

療養福祉相談室 TEL (06) 6441-5451 (内線2140)

患者さん、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅医療や看護を支援するため、地域医療施設や訪問看護ステーションと連携を取り合っています。退院後の療養施設の紹介や、介護支援も行います。また、医療費の相談や福祉制度のご案内も行っています。

スポーツ医学センター

(06) 6441-5451 (内線3101)

火・水・金・土 9:00～17:00

月・木 9:00～20:30

E-mail: spo-cen@okn.gr.jp (随時受付可)

健康増進や病気予防を目的とした一人一人に適した運動を、個別に指導いたします。安全で効果的な運動を、楽しみながら継続できるように、工夫を凝らしています。

※ 完全予約制。センター受付にてあらかじめ、ご予約をおとください。

人間ドック・脳ドック・肺がんドック

ドック相談室

TEL (06) 6441-5451 (代)

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防に役立ち、より健康的な生活をしていただくことが目的です。二日ドックと一日ドックがあります。

※ 医事課 TEL (06) 6441-5451 (内線2144)

問 は問い合わせ 申 は申し込み 予 は予約先を表しています

NICU (新生児集中治療室)

NICU当直医

TEL (06) 6441-5451 (代)

24時間体制で、新生児の集中治療を行っています。他医療機関からの母体搬送や、新生児搬送入院にも対応し、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム

かかりつけ医の先生専用

地域診療所・助産所のシステム登録医 (かかりつけ医) と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来

医事課

TEL (06) 6441-5451 (内線2161)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。

(診療日) 毎週水曜日 (受付時間 8:30～11:30)

(診療科) 内科、皮膚科、産婦人科、小児科

(受付窓口) 医事課初診窓口 (①番窓口)

なお、女性医師の出張・異動等により、女性医師外来を休診している場合がありますので、ご了承ください。

※ 当外来をご希望の女性患者さんは、医事課受付でその旨をお申し付けください。

乳がん検診

乳腺・内分泌外科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2271)

乳がんの早期発見にお役立てください。

(検診日) 毎月第4水曜日の午後1:00と3:00、

毎週木曜日の午後4:00

※ 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線 2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後2:00～5:00)

女性がん検診

産婦人科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2279)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です

(検診日) 毎週金曜日 午後2:00～午後3:40

※ 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線 2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後2:00～5:00)



交通のご案内

■ JR東西線

「新福島駅」下車 (出口③)・徒歩約5分

■ 大阪環状線

「福島駅」下車、徒歩約10分

■ 阪神電車

「福島駅」下車、徒歩約10分

■ 京阪中之島線

「中之島駅」下車 (出口①)・徒歩約5分

■ 市バス

大阪駅前 79.56A → 「福島西通」下車

大阪駅前 55 → 「堂島大橋北詰」下車

大阪駅前 53 → 「堂島大橋」下車

■ タクシー

「大塚駅」より約10分

大阪府「男女いさよ・元氣宣言」登録事業者/「働きやすい病院」認定病院 (第1号)/「にっけい子育て支援大賞受賞」/女性のチャレンジ支援賞 (内閣府) 受賞



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院

大阪厚生年金病院 信頼に応える医療

〒553-0003 大阪市福島区福島4-2-78

TEL (06) 6441-5451 (代表) FAX (06) 6445-8900

<http://www.okn.gr.jp/> E-mail: hs_osaka@kjp.or.jp

この広報誌に対するご意見・ご要望は郵送かEメールで広報誌委員会宛まで